

# とくしま オーガニック情報

NPO法人徳島県有機農産物認証協会機関誌

## 第 5 号

徳島市かちどき橋1丁目41番地  
徳島県林業センター4階  
徳島県農業会議内

TEL 088-655-8368

FAX 088-655-8364

E-mail ninsho@tokukaigi.or.jp

## 改正 J A S 法 の 概 要

昨年6月22日にJAS法が改正されました。これにより、有機農産物の生産農家、有機農産物加工食品の製造業者とこれらを認定している登録認定機関徳島県有機農産物認証協会は、概ね次のようになります。

### ◎ 有機農産物の農家、有機農産物加工食品の製造業者

現在、本協会から認定を受けている有機農産物の生産農家、有機農産物加工食品の製造業者の皆さんの認定の有効期限は、平成21年の3月1日までです。引き続き有機農産物の生産、有機農産物加工食品の製造をするためには、同年2月末までに、改めて本協会から認定を受ける必要があります。

改めて本協会から認定を受けるには、新しい様式の申請書で本協会へ認定申請をします。この場合、「有機農産物生産行程管理者等講習会」を申請前に受講しておくことが必要です。同講習会は5月20日（土）に開催します。（詳細は7ページ）

### ◎ 登録認定機関徳島県有機農産物認証協会

本協会の有機農産物生産農家等の登録認定機関としての有効期間は、本年2月末まででありました。引き続き有機農産物生産農家等の登録認定機関になるため、現在、農林水産大臣にその認可の申請中であります。

改正の最大の特徴は、これまで認定権限はあったものの取消権限はなかったのですが、改正により取消権限が付与されたことです。

# 1年間の活動記録

## ●理事会・総会

### ○第6回理事会

平成17年5月31日、徳島市「ウエルシティ徳島厚生年金会館」で第6回理事会を開き、①平成16年度事業報告並びに収支決算、②平成17年度事業計画並びに収支予算、及び平成17年度会費額並びに賦課納入、③内部監査報告、について協議しました。

### ○第7回理事会

平成17年12月2日、徳島市「ウエルシティ徳島厚生年金会館」で第7回理事会を開き、「JAS法改正に伴う登録認定機関の申請について（①新有機認定業務規程について、②新認定申請手数料について）」協議しました。

### ○第5回通常総会

平成17年5月31日、徳島市「ウエルシティ徳島厚生年金会館」で第5回通常総会を開き、①平成16年度事業報告並びに収支決算、②理事の選挙、③理事長及び副理事長の互選、④平成17年度事業計画並びに収支予算、及び平成17年度会費額並びに賦課納入、について審議しました。

この結果、議案①④については原案どおり承認され、②理事の選挙については、多智花俊裕氏、佐藤俊博氏、市岡通裕氏が選任され、③理事長及び副理事長の互選については、多智花俊裕氏が理事長に選任され、佐藤俊博氏、市岡通裕氏がそれぞれ副理事長に選任されました。

総会終了後、徳島農政事務所表示・規格指導官 粟飯原文明氏から「改正JAS法について」の研修を受けました。

## ●格付担当者講習会

平成17年6月30日午前、徳島市「ウエルシティ徳島厚生年金会館」で有機農産物格付担当者等講習会を開き、受講・修了者18名に「修了書」を交付しました。

## ●生産行程管理者等講習会

平成17年6月30日午後、徳島市「ウエルシティ徳島厚生年金会館」で有機農産物生産行程管理者等講習会を開き、受講・修了者23名に「修了書」を交付しました。

## ●検査員・判定員研修会

平成18年3月20日、高知県香美市及び同県土佐郡土佐町で有機検査員・判定員の視察研修会を行い、「有機農産物栽培の実際について」研修しました。（会員研修会との合同で行いました。）

## ●有機検査

平成17年4月15日・美馬市木屋平、同年5月23日・上勝町(2回)、同年5月25日・美馬市木屋平(2回)、同年6月14日・美馬市木屋平、同年7月4・5・7・8日・美馬市木屋平、同年8月10日・那賀川町、同年9月12日・吉野川市鴨島町、同年9月20日・美馬市木屋平、同年9月21・22日・藍住町、同年9月28日・勝浦町(2回)、同年9月29日・美馬市木屋平、同年10月21日・鳴門市大津町、平成17年10月25日・上板町及び美馬市木屋平(2回)、平成18年1月30日・美馬市美馬町、同年2月2日・美馬市美馬町及び美馬郡つるぎ町、同年2月7日・石井町、同年3月8日・阿波市柿原、の計25回有機農産物生産行程管理者、有機農産物加工食品製造業者の検査を行いました。

## ●有機判定委員会

平成17年6月14日、同年7月2日、同年8月8日、同年10月18日、同年11月21日、平成17年12月12日、平成18年3月29日、の計7回徳島市で有機農産物生産行程管理者及び、有機農産物加工食品製造業者の判定委員会を行いました。

## ●会員研修会

- 平成18年3月20日、高知県香美市の「(有)大地と自然の恵み」及び同県土佐郡土佐町の「有機のがっこう土佐自然塾」を視察研修しました。(検査員・判定員研修会との合同で行いました。)

## ●普及啓発

- 平成17年10月13日～15日、徳島市「アスティとくしま」で開催された徳島ビジネスチャレンジメッセ2005に出展、有機JAS制度関係のパネル、資料の展示及び同制度関係のパンフレットの配布をしました。
-

## 有機認定者一覧

本協会は本年度、新たに13件の有機認定をしました。次の者が現在（平成18年3月31日）の認定者で、その中で●が本年度の認定者です。

### ■有機農産物

生産者名	栽培地	農産物名	認定年月日	生産者名	栽培地	農産物名	認定年月日
天田善信	美馬市	ゆず	14.11.28	佐藤浩史	藍住町	かぶら、みぶな、白菜、米	16.10.26
美馬キウイ生産組合（6名）	美馬市 つるぎ町	キウイフルーツ	15. 2.17	横手忠男	藍住町	洋人参、米	16.10.26
阪東農園	上勝町	すだち、ゆず、ゆこう、茶	15. 9.12	●松家安信	美馬市	ゆず	17. 6.15
松家繁信	美馬市	ゆず	15. 9.12	●香川米子	美馬市	ゆず	17. 6.15
西村利治	美馬市	ゆず	15. 9.12	●管惣敏夫	美馬市	ゆず	17. 6.15
休石竹良	美馬市	ゆず	15. 9.12	●休場正人	美馬市	ゆず	17. 6.15
新居克之	徳島市	黒米	15. 9.19	●梶田照江	美馬市	ゆず	17. 8. 9
井上武夫	美馬市	ゆず	16. 6.15	●近藤龍一	美馬市	ゆず	17. 8. 9
風尾新	美馬市	ゆず	16. 6.15	●田中康啓	勝浦町	すだち、ゆこう、ゆず	17.10.18
中尾廣文	美馬市	ゆず	16. 6.15	●藤本高次	美馬市	ゆず	17.10.18
新田弘	美馬市	ゆず	16. 6.15	●西條文雄	上板町	水稲、そば、野菜、サトウキビ	17.11.21
若宮重利	美馬市	ゆず	16. 6.15	●(有)酒井農園	鳴門市	れんこん	17.11.21
久次米靖章	藍住町	洋人参	16.10.26	●山本秀昭	美馬市	ゆず	18. 3.29
斉藤宣夫	藍住町	かぶら、みぶな、白菜	16.10.26				

### ■有機農産物加工食品

生産者名	製造地	加工食品名	認定年月日
徳島金長（株）	阿波市	乾燥麴、粉末乾燥麴、 $\alpha$ 化米	15. 2. 12
阪東食品	上勝町	すだち酢、ゆず酢、ゆこう酢、晩茶	15. 9. 18
野田ハニー食品工業(株)	吉野川市	ブルーベリージュース、リンゴジュース、オレンジジュース	15. 9. 18
J A 美馬	美馬市	ゆず酢	15. 11. 10
●(株)かねきち	勝浦町	ゆず酢、ゆこう酢、ゆず皮	17. 12. 12
●(株)谷食糧	石井町	そば米、そば粉	18. 3. 31

## 有機視察研修の概要

3月20日に高知県香美市香北町の有限会社「大地と自然の恵み」（小田々智徳社長）と同県土佐郡土佐町の「有機のがっこう土佐自然塾」（山下一穂塾長）を視察研修しました。本協会の会員、有機認定の検査員・判定員ら22名が参加しました。

「大地と自然の恵み」は、20年前から有機農業に取り組み、平成13年2月にNPO法人有機農業認証協会（大阪府吹田市）から有機認定を受け、3.2haの認定圃場にネギ、ミョウガ、パセリ、トマト、ミニトマト、ユズを栽培。15人を雇用、田畑の転換と輪作による土づくりに力を入れ、生産物は関西、関東の消費者団体と量販店に出荷しています。



小田々社長から有機ネギの栽培の説明を受ける参加者

「有機のがっこう土佐自然塾」は、環境保全活動に取り組むNPO法人黒潮蘇生交流会（高知市）と高知県との協働事業として取り組むもので、本年4月に開講します。日本初の有機の学校で、研修期間は1年間。定員は15名で、授業料は年間60万円。塾長、県職員2名が講師となり、有機農業の基本技術、野菜・水稻栽培の基礎、農業経営などを教えます。

卒業後、高知県内で就農する場合、農地の幹旋や生産物の販売のお世話などきめ細かな支援も受けられます。現在、14名が入塾の申込みをしているが、半数が県外の人であります。



山下塾長から有機のがっこうの説明を受ける参加者



## 地域ぐるみの支援で就農、有機農業に取り組む

吉野川市山川町 鈴木一城さん (23歳)

鈴木さんは千葉県野田市の非農家の生まれ。将来、農業関係の仕事に就きたいと東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科へ進学、発展途上国の農業指導を勉強。大学在学中、農業実習や国際協力の活動に関心を持ち、国内各地の農家での実習、アフリカの赤道に近い国ザンビアで2カ月間に及ぶNGO活動の視察を体験しました。

これらの体験が鈴木さんの将来に大きく影響。日本で農業、それもできるなら大学の先輩や知人が居て、何でも栽培できしかも有機栽培ができる環境にある山川町で農業をしたいと考えるようになりました。

昨年3月末、大学卒業と同時に山川町に引っ越し、まず、同町の大学の先輩のお世話で家(2階建て、築30年)を借りました。次に同町のNGO活動をしている知人のお世話で、後継ぎがないため廃業した農家の農地60アールと倉庫、納屋、トラクターなどの農機具を借り受けました。さらに、現在のところ農業だけでは食べていけないため、大学時代からお付き合いのある同町の農家の方の紹介で、有機JAS認定の加工食品メーカーに勤めることもできました。こうして、地域ぐるみの支援で、希望の地、山川町で就農、有機農業に取り組むことができました。そして、有機農業の技術についても、同町の某病院関係者の有機農業グループ「さくら農園」に入り、その指導を受けることもできました。

現在、有機栽培の規模は20アールで、ジャガイモ、サツマイモ、カボチャ、サトイモなどを栽培。農作業は毎日、朝夕の30分ずつと日曜日に終日行い、生産物は宅配での販売と近くの病院に病院食用に販売しています。近々、本協会に有機認定の申請の意向を持ち、将来は有機栽培の規模を1haまで拡大したい、と話しています。



# 有機農産物生産行程管理者等講習会及び 有機農産物格付担当者等講習会のご案内

- 1 日 時 平成18年5月20日(土) 10時30分～16時30分
- 2 場 所 徳島市南前川町3丁目1-22  
「ウエルシティ徳島厚生年金会館」3F エディ
- 3 日 程 (1) 有機農産物生産行程管理者等講習会 (10:30～16:00)
- |                                       |             |
|---------------------------------------|-------------|
| ① 改正JAS法及び有機認定制度について                  | 10:30～11:50 |
| ② 有機農産物及び有機加工食品の日本農林規格、及び認定の技術的基準について | 11:50～12:30 |
| ③ 有機農業概論について                          | 13:00～15:00 |
| ④ 有機認定業務規程及び有機認定申請について                | 15:00～16:00 |
- (2) 有機農産物格付担当者等講習会 (16:00～16:30)  
有機農産物の格付等について
- 4 受講料 2,000円(資料代含む)
- 5 受講対象
- 現在、本協会に認定を受けている「有機農産物の生産農家」及び「有機加工食品の製造業者」
  - 今後、本協会に認定を受ける意向のある「有機農産物の生産農家」、「有機加工食品の製造業者」、及び「有機農産物及び有機加工食品の小分け業者」等
- 6 受講資格
- (1) 有機農産物生産行程管理者、有機農産物格付担当者
- 農業生産又は農業生産に関する指導、調査若しくは試験研究に3年以上従事した経験を有する者(又は、①大学で農業生産に関する授業科目の単位を取得して卒業した者(同等以上の資格を有する者も含む)で、農業生産又は農業生産に関する指導、調査若しくは試験研究に1年以上従事した経験を有する者、②高等学校を卒業した者(同等以上の資格を有する者も含む)で、農業生産又は農業生産に関する指導、調査若しくは試験研究に2年以上従事した経験を有する者)

(2) 有機加工食品生産行程管理者、有機加工食品格付担当者

飲食料品の製造若しくは加工又は飲食料品の製造若しくは加工に関する指導、調査若しくは試験研究に3年以上従事した経験を有する者(又は、①大学において飲食料品の製造若しくは加工に関する授業科目の単位を取得して卒業した者(同等以上の資格を有する者も含む)で、飲食料品の製造若しくは加工又は飲食料品の製造若しくは加工に関する指導、調査若しくは試験研究に1年以上従事した経験を有する者、②高等学校を卒業した者(同等以上の資格を有する者も含む)で、飲食料品の製造若しくは加工に関する指導、調査若しくは試験研究に2年以上従事した経験を有する者)

(3) 有機農産物及び有機加工食品小分け担当、有機農産物及び有機加工食品格付表示担当者

食品の流通の実務に3年以上従事した経験を有する者(又は、高等学校を卒業した者(同等以上の資格を有する者も含む)で、食品の流通の実務に2年以上従事した経験を有する者)

7 参加申込み (1) 申込み期限 平成18年5月15日(月)まで。

(2) 申込み方法 所定の参加申込書により下記へFAXか郵送でお申し込み下さい。

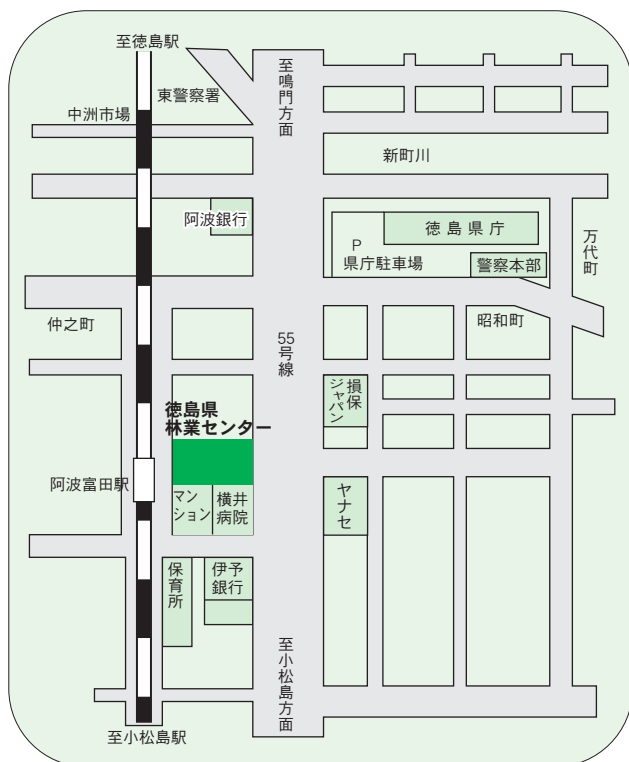
NPO法人徳島県有機農産物認証協会

〒770-0939 徳島市かちどき橋1丁目41番地

徳島県林業センター4F 徳島県農業会議内

TEL 088-655-8368 FAX 088-655-8364

事務所案内図



編集後記

平成14年3月に苦勞してやっと登録認定機関になりやれやれと思ったのも束の間、4年も経たないうちに法律が変わり、また一からのやり直しであった。昨年8月から仕事の合間をみて改正JAS法での登録認定機関になるための作業を始め、12月末にやっとその作業が終わり農林水産大臣に認可申請することができました。世の中なかなか楽はさせて頂けません。が、それは認定事業者も同じかもしれませんね。嘆いてばかりおらず、有機農業の発展のために前向きにやりましょう、と思う今日この頃です。

本協会事務局・本誌編集担当 難波 力